

# エゾマツ



No 73

2005年6月23日

夏期号

北海道ボランティア・レンジャー協議会



2005.07.02 12:53 1/1000s F2.0

## 目 次

巻頭言	アカシアの花が咲く頃	会長 川端 功治	2
I	平成17年年度 第20回定期総会	—— 特集	3
	・ 平成16年度事業、会計報告		
	・ 平成17年年度観察会、研修会、予算など		
	・ 研修会 講師前田満さんのレジメ		
	・ 研修会に参加して	————— 内山 恭子	14
II	各地からの報告、自然観察		
	・ 望郷	————— 室蘭市 柏木 末則	15
	・ 森と水のまち・芦別	————— 芦別市 若松 市政	16
	・ 小学生に自然環境の大切さをボラ・レンオホーツク 支部の活動状況について	————— オホーツク支部 佐野 亮二	17
III	自然観察会		
	・ 塩谷丸山登山自然観察会参加お礼の手紙	—— 春日 順雄	18
	・ 多くの人たちが参加した 恵庭自然観察会	—— 橋場 俊子	20
	・ 6月監察会 「森の仕組みを観察しよう」	—— 玉田紀美子	21
	・ セミの合唱のなかに、馥郁として香りが漂う		
	・ - 北広島のレクの森で	—— 佐藤 清一	23
	・ 「釧路市身近な指標生物市民調査」から	佐々木文雄	24
IV	連載		
	・ 花紀行 やっぱり現地で見たい(1)	————— 内山 恭子	25
V	おくやみ申し上げます		27
VI	研修部、事務局からの連絡		28
	編集後記		

## アカシアの花が咲く頃

会長 川端 功治

厳しかった冬が去り、ほのかに芳香が漂う気配を感じ「初夏になったのだ」と見上げれば白いアカシアの花房が揺れている。この花の咲く穏やかな季節を待ち焦がれていたのです。この花を見て「ロビニアが咲いた」と喜ぶのは教授達でした。

砂防工学や土堰堤の構築学を講義する時に花形になるのはこの「ロビニア」なのです。

根に根瘤菌を持ち窒素を固定して肥料を自給自足するので、砂質のところでも良く育つので植生が安定するまで重宝な立役者で、特有の鋭いトゲが動物類の侵入攪乱を防ぎます。

砂防工にすばらしい功績を残したお手柄の作品を永久に褒め称えるためにこの木の学名の冒頭の属名にロビニア氏の名前が献名され、その荣誉に敬意を表すために「ロビニア」と呼んでいるのです。先生方は植物名を発言する場合に属名で呼び合っているので違和感がない。一番苦勞していたのは学生達で、教授の前では「ロビニア」と呼び、研究者や公的調査員は「ハリエンジュ」、一般市民は「ニセカシア」、そして普通の会話は「アカシア」。「偽アカシアとは怪しからん」と力む方が居られますが「似ているアカシアの略称、偽せアカシア」かもしれないと宥める方もおられます。

台風で倒伏しないように太枝切りの強度の枝打ちをやったら、市役所に苦情が殺到したそうです。美景が怪物景になるとのこと。これは最近のことですが、台風で倒伏した街路樹を取り除き倒伏しにくい樹種に植え替えしようとしたところ、町内会から待ったが掛かりました。その町内会で既に固有名詞化した名物「アカシア通り」をどうしてくれるかとの抗議があったそうです。もともとアカシア類は根の性質上浅根性なのです。

本州から渡って来た集蜜業者がアカシアを終えシナの木に移る頃になると北海道にも夏がやってきます。この落ち着いた雰囲気の中で北海道では肩書きの無いアカシアの棒読みで過ごしたいと考えております。勿論統計や調査の時はハリエンジュを使い、ロビニアを使うほど尊敬したキャリアもないし、ニセアカシアは差別的な臭いがして好きになれない。それから見ると次の歌曲はまるきり次元が異なるが肩書きの無いアカシアが生き生きとして濃艶な脇役を演じていると思いませんか。

アカシアの雨がやむとき 西田 佐知子 唱

アカシアの雨に打たれて このまま死んでしまいたい 夜があける 日がのぼる  
冷たくなった私を見つけて あのひとは 涙を流して くれるでしょうか

省略

# 平成17年度 第20回定期総会



日 時 平成17年4月16日(土)  
13:00~16:30

場 所 北海道環境サポートセンター  
(札幌市北区北7条西5丁目千代田ビル 011-231-4111)

北海道ボランティア・レンジャー協議会

# 平成17年度 第20回定期総会日程

日 時 平成17年4月16日(土) 13:00~16:30

(環境サポートセンター)

- ・受付 13:00~13:30
- ・研修会 13:30~14:50
- ・総会 15:00~16:30

## 《研修会》

◇演 題 「熱帯林の修復と砂漠緑化」

講師 前田 満 様 (元森林総合研究所)

《定期総会》 司会進行 三崎総務部長

(出席・委任状、総会成立確認)

### 1. 開 会

2. 会長挨拶 川端会長

### 3. 来賓紹介と来賓挨拶

道環境室自然環境課	主 幹	今 村	衛 様
野幌森林公園事務所	所 長	中 川	剛 志 様
〃	副課長	野 口	光 紀 様
〃	主 任	藤 本	剛 様
〃	主 任	徳 永	剛 様

### 4. 議長選出と議事録署名人の選出

### 5. 議長就任挨拶と議事録署名人の紹介

### 6. 議 事

#### 1号議案

- ・平成16年度事業報告
- ・平成16年度決算報告並びに監査報告

#### 2号議案

- ・平成17年度事業計画(案)
- ・平成17年度収支予算(案)

#### 3号議案

- ・役員選任要領
- ・20周年記念事業
- ・その他

### 7. 議長退任

### 8. 閉 会

《連絡事項》

<1号議案>

1. 平成16年度事業報告

(1) 観察会事業

観 察 会 名	日 時	集 合 場 所	参加人数		備 考
			一般	会員	
4月の森の観察会	4月15日(木) 10:15~12:30	野幌森林公園 開拓記念館前	55	7	協力
春のありがとう観察会	5月16日(日) 10:00~14:30	野幌森林公園 ふれあい交流館前	16	8	協力
三角山登山観察会	5月23日(日) 10:00~14:00	三角山 緑花会登山口	11	6	主催
恵庭自然観察会	5月30日(日) 10:00~12:00	恵庭公園駐車場	7	3	主催
初夏の森をのぞいてみよう観察会	6月6日(日) 10:15~12:30	野幌森林公園 森の自然教室	33	9	協力
豊平峡ダム自然観察会	6月12日(土) 10:00~14:00	定山溪バスターミナル	12	6	主催
帯広野草園観察会	6月20日(日)	帯広市 緑が丘公園	2	6	主催
7月の森の観察会	7月15日(木) 10:15~12:30	野幌森林公園 森の自然教室	45	9	協力
平山登山観察会	7月24日(土) ~25日(日)	白滝小栗邸		12	研修を兼ねる 主催
夏の森の観察会	8月15日(日) 10:00~14:30	野幌森林公園 ふれあい交流館前	24	7	協力
鶴川観察会	8月28日(土) ~29日(日)	鶴川宿泊	5	10	研修を兼ねる 主催
9月の森の観察会	9月16日(木) 10:15~12:30	野幌森林公園 森の自然教室	14	1	協力
オホーツク支部 研修会	9月18日(土) ~19日(日)	白滝小栗邸			オホーツク支部 主催
10kmエコハイキング	10月3日(日) 10:15~14:30	野幌森林公園 開拓記念館	4	7	主催
秋の森の観察会	10月17日(日) 10:00~14:30	野幌森林公園 ふれあい交流館前	38	9	協力
秋のありがとう観察会	11月7日(日) 10:00~14:30	野幌森林公園 ふれあい交流館前	36	13	協力
西岡公園 自然観察会	11月23日(日) 10:00~12:00	西岡公園事務所前	9	10	主催

12月の森の観察会	12月16日(木) 10:15~12:30	野幌森林公園 開拓記念館前	14	6	協力
冬の円山登山観察会	1月16日(日) 10:00~12:30	円山登山口	5	8	主催
藻岩山登山観察会	2月6日(日) 10:00~13:30	慈恵会登山口	1	4	主催
冬の森の観察会	2月20日(日)	野幌森林公園 ふれあい交流館前	11	8	協力
早春の森の観察会	3月14日(日) 10:00~12:00	野幌森林公園 ふれあい交流館前	45	6	協力

●小樽支部観察会

観 察 会 名	日 時	参加人数				備 考
		一般	会員	補助	計	
赤岩山～オタモイ海岸	4月25日(日)	28	3	2	33	
銭函天狗～桂岡	5月22日(土)	28	2		30	
積丹岳	6月26日(土)	27	4	1	32	バス
大平山	7月10日(土)	12	3	2	17	バス
塩谷丸山	9月25日(土)	26	5	2	33	
最上町～遠藤山～穴滝	10月16日(土)	18	6		24	
小樽市有林	9月27日(土)	17	5		22	納会
天神浄水場～天狗山	2月19日(土)	8	3		11	カンジキ
塩谷丸山	3月27日(日)	18	4	1	23	カンジキ
計		182	35	8	225	

(2) 研修会事業

- ・4月10日(土) 講演 「総合学習と自然環境教育」  
滝野青少年山の家館長 角谷 毅 様
- ・6月19日(土)～20日(日) 帯広野草園観察会(研修会を兼ねる)
- ・7月24日(土)～25日(日) 平山登山観察会(研修会を兼ねる)
- ・8月28日(土)～29日(日) 鶴川観察会(研修会を兼ねる)
- ・9月18日(土)～19日(日) 北見観察会(研修会を兼ねる) 北見支部主催

注 ・各種観察会の下見を会員研修の場として実施



### (3) 他団体への協力派遣事業

- ・5月9日(日) 江別市野幌ライオンズクラブ(大沢コース) 4名派遣
- ・5月25日(金) 白石北在宅支援センター(大沢コース) 2名派遣
- ・7月28日(水) 千歳市青葉公園自然教室 解説員として4名派遣
- ・9月25日(土) 野幌子ども会観察会ガイド(台風余波のため派遣中止)
- ・10月1日(金) 江別市立第二小学校3年生校外学習 ガイド 7名派遣

### (4) 広報誌「エゾマツ」「自然観察NOW」発行事業

- ・6月25日(金) エゾマツ 69号 発行
- ・10月27日(水) エゾマツ 70号 発行
- ・1月27日(木) エゾマツ 71号 発行
- ・3月23日(水) エゾマツ 72号 発行
- ・自然観察NOW 11回発行(野幌森林公園観察会参加者に配布)

### (5) 会 議

- ・16年度19回定期総会 4月10日(土) 環境サポートセンター
- ・16年度第1回役員会 5月14日(金) 環境サポートセンター
- ・16年度第2回役員会 9月14日(火) 環境サポートセンター
- ・16年度第3回役員会 1月20日(木) 環境サポートセンター
- ・16年度第4回役員会 3月24日(木) 環境サポートセンター

### (6) その他の活動

- ・4月16日(金) 研修会講師へのお礼挨拶(滝野山の家) 事務局長
- ・4月27日(火) 環境道民会議 かでる2・7 事務局長出席
- ・5月19日(水) 野幌森林公園ゴミ拾い事業に参加 登満別コース 3名参加
- ・6月18日(金) 石狩支庁と千歳自然教室について打ち合わせ
- ・8月22日(日) 育成研修修了者に本会加入勧誘(8名加入)
- ・9月18日(土) オホーツク支部との交流懇親会
- ・12月11日(土) ボランティア・レンジャー協議会忘年会
- ・2月24日(木) 総会研修会講師決定(元森林総合研究所 前田 満氏)
- ・3月9日(水) 17年度育成研修会他 道自然保護課と打ち合わせ
- ・3月17日(木) フォレストガイド育成研修協力

### (7) 備 品

- ・双眼鏡15台、望遠鏡2台、聴診器5本、携帯救急医療箱1個(公園事務所保管)
- ・携帯無線機2台1組(五十嵐副会長)
- ・ファックス電話2台(研修部長宅、他)
- ・コピー機1台(使用不能のため廃棄手続き)

## 平成16年度収支決算書

平成16年4月1日～平成17年3月31日

収入額 554,707円

支出額 363,933円

差引 190,774円(次年度へ繰越)

### 収入の部

単位:円

項目	予算額(a)	決算額(b)	差額(b-a)	摘要
前年度繰越金	150,699	150,699	0	
年会費	369,000	386,000	17,000	@3000×124名・@2000×7名
雑収入	10,301	18,008	7,707	保険料、協力謝礼金
合計	530,000	554,707	24,707	

### 支出の部

単位:円

項目	予算額(a)	決算額(b)	差額(b-a)	摘要
総務部費	80,000	78,705	▲1,295	通信費、会議室借用費、振替手数料
事務局費	90,000	42,524	▲47,476	通信費、事務用品費
研修部費	90,000	34,898	▲55,102	研修会謝礼金、研修雑費
活動費	90,000	86,200	▲3,800	地方支部活動費、観察会交通費
広報部費	160,000	121,606	▲38,394	会報えぞまつ制作費、郵送費
予備費	20,000	0	▲20,000	
合計	530,000	363,933	▲166,067	

## 平成16年度 財産目録

平成17年3月31日

単位:円

借方		貸方	
科目	金額	科目	金額
通常貯金	1,131,362	繰越金	190,774
		20周年準備金	940,588
計	1,131,362	計	1,131,362

## 監査報告書

私たち監事は、会則第11条の2に基づき平成16年4月1日から平成17年3月31日までの予算執行状況について会計帳簿・証憑書類を精査・確認しました結果、適正なものと認めます。

平成17年4月4日

北海道ボランティア・レンジャー協会

監事 猪師 勉  
監事 高松文雄



〈2号議案〉

1. 平成17年度事業計画（案）

(1) 事業計画の方針

目 標 「自然との共存、日常の実践から」

重 点

1. 環境保全活動（観察会等）に向けての研修と実践に努める。
2. 会員の意見や要望を把握し会運営に反映させていく。
3. 育成研修会での入会者の勧誘に努めてる。
4. 20周年事業の準備と将来展望を図る。

(2) 会 議

①定期総会

平成17年4月16日（土） 環境サポートセンター

②役員会

理事会を年4回（5月、9月、1月、3月）に開催、三役会は必要に応じて開催。

(3) 観察会・研修会・調査活動

- ①観察会については別紙による。また、サークル活動の観察会があれば随時実施。
- ②研修会についても別紙による。また、会員の要望と必要に応じ実施。
- ③観察会の記録化により資料の集積や活用を図る。

(4) 他団体への協力

- ①観察会ガイドの要請については、主催の目的等を把握し協力していく。
- ②各関係機関や団体が行う自然環境保全に関わる行事や調査には参加していく。

(5) 広報誌「エゾマツ」発行

- ①年4回（6月中旬、10月中旬、1月中旬、3月下旬）の発行
- ②誌面内容と体裁の充実に努力していく。
- ③観察会一般参加者に「自然観察NOW」の配付

(6) 支部や地方会員の活動の活発化。

- ①支部や地方会員の活動化に事務局は積極的に取り組む。
- ②各地での観察会・研修会計画については中期的展望を立て実施していく。
- ③各会員の思いや要望の発信と広報誌による交流を進める。

平成17年度

観察会・研修会予定(案)

北海道ボランティア・レンジャー協議会

月	観察会・研修会	実施日時	下見	集合場所	備考
4	「春の花を見つけよう」観察会	17.4.28(木)10:15~12:30	4.21 10:00	開拓記念館	協力
5	春のありがとう観察会 恵庭公園観察会 三角山登山観察会	17.5.15(日)10:00~14:30	5.14 10:00	交流館(大沢口)	協力・昼食持参
		17.5.22(日)10:00~12:00	5.21 10:00	恵庭公園駐車場	主催
		17.5.29(日)10:00~14:00	随時	緑茶会前登山口	主催
6	森の仕組みを観察しよう 北広島レクの森観察会	17.6.5(日) 10:10~12:30	6.4 10:00	交流館(大沢口)	協力
		17.6.19(日)10:00~12:00	6.18 10:00	レクの森入り口	サークル活動
7	富良野 東大演習林観察会 葉っぱの観察会 鶴川海浜植物観察会	17.7.1(金)~2(土)		富良野動物	主催
		17.7.10(日)10:10~12:30	7.9 10:00	交流館(大沢口)	協力
		17.7.16(土)~17(日)		鶴川四季の館	主催
8	暑い夏の涼い森を体験しよう 道南地区観察会	17.8.4(木)10:15~12:30	7.28 10:00	開拓記念館	協力 主催
		検討中			
9	木の実を探してみよう オホーツク支部研修会 野外救急法講習会	17.9.11(日)10:00~14:30	9.10 10:00	交流館(大沢口)	協力・昼食持参 主催 主催
		検討中			
10	10k エコハイキング ありがとう観察会	17.10.2(日)10:00~14:00	10.1 10:00	開拓記念館	主催・昼食持参
		17.10.16(日)10:00~14:30	10.15 10:00	交流館(大沢口)	協力・昼食持参
11	秋の森観察会 登満別コース 西岡水源地自然観察会	17.11.3(木) 10:00~14:30	11.2 10:00	交流館(大沢口)	主催・昼食持参
		17.11.23(木)10:00~12:00	11.22 10:00	管理事務所前	主催
12	12月の森の観察会	17.12.4(日)10:15~12:30	12.3 10:00	交流館(大沢口)	主催
1	円山登山観察会	18.1.15(日)10:00~12:30	1.14 10:00	円山登山口	主催
2	藻岩山登山観察会	18.2.5(日) 10:00~14:30	2.4 10:00	藻岩会登山口	主催
3	野幌の春を探そう	18.3.26(日)10:00~12:00	3.25 10:00	交流館(大沢口)	協力

17年度 活動の重点目標

会員の交流と研修活動の充実を図っていく

※野幌森林公園観察会下見後の研修会(年間4回実施 ふれあい交流館)

6月4日(土) 13:00~ 「葉っぱの下を覗いてみよう。」

7月9日(土) 13:00~ 「葉っぱにまつわるエトセトラ」

9月10日(土) 13:00~ 「種子にまつわるエトセトラ」

3月25日(土) 13:00~ 「木についているもの話」

2005年小樽支部自然観察会予定表  
 (北海道ボランティアレンジャー協議会・小樽支部)

No.	月/日(曜日)	行き先	見どころ	集合場所・時間
1	4/24(日)	赤岩山～オタオイ海岸	春植物	赤岩2丁目路線バス停 サンクス前、9時、
2	5/21(土)	天狗山～穴滝	初夏の植物	天狗山頂リス公園前 9時30分
3	6/3(金)	定山溪天狗岳	野草・野鳥	貸切バス小樽駅向い、 第3ビル前バス停7時
4	6/30(木)	アポイ岳	山の草花	貸切バス、 小樽駅隣り三角市場国道寄り 出入り口、4時、
5	8/20(土)	手稲山山麓	夏の樹林帯	星置川乙女橋あたり 8時30分
6	9/11(日)	丸山～遠藤山～天狗山	野草、キノコ	JR塩谷駅前駐車場 8時30分
7	10/4(火)	恵庭岳	紅葉	貸切バス小樽駅向、 第3ビル前バス停7時
8	11/6(日)	小樽市有林内	カラマツ黄葉	路線バス商大線終点 8時30分
9	2/20(日)	天狗山東斜面	カンジキ歩き	天神浄水場前広場 8時30分
10	3/27(日)	赤岩山	カンジキ歩き	赤岩2丁目路線バス停 サンクス前、8時30分

参考

- ①約1週間前、道新小樽版、読売金曜夕刊等に集合場所、時間等を再掲します
- ②天候外の都合で、日時等変更する事も有りますので事前に申し込み願います
- ③参加料は、1人300円、貸切バスは実費、当日受付で願います、
- ④自家用車の方はその旨連絡願います(駐車場の状況、乗り合わせの可否等)
- ⑤申し込み、問い合わせ等は、0134-27-1701、北原迄、

## 平成17年度予算(案)

### 収入の部

項目	予算額	前年度予算額	摘要
前年度繰越金	190,774	150,699	
年会費	390,000	369,000	会員130名@3000円
雑収入	9,226	10,301	保険料、協力者礼金
合計	590,000	530,000	

### 支出の部

総務部費	90,000	80,000	総会案内等通信費、会議室借用費、振替手数料
事務局費	100,000	90,000	通信費、事務用品費
研修部費	100,000	90,000	研修会講師謝礼金、研修雑費
活動費	100,000	90,000	地方支部活動費、観察会交通費
広報部費	160,000	160,000	会報えぞまつ制作費、郵送費
予備費	40,000	20,000	
合計	590,000	530,000	

〈3号議案〉

1. 北海道ボランティア・レンジャー協議会役員選任要領（案）

1. 役員を選任については、この要領によるものとする。

（役員選考委員による推薦）

2. 会は、役員選任のため役員選考委員会を設置する。

（1）役員選考委員は会長が任命する。

（2）役員選考委員は3名とし、委員長は委員の互選で選任する。

（3）役員選考委員会は、役員候補を推薦し改選期の総会10日前までに会長に報告する。

（4）役員選考委員の任期は改選期の総会をもって終了する。

（役員を選任）

3. 会は、役員選考委員会より推薦された役員候補を総会に諮り、これを選任する。

（補欠選任）

4. 役員の一部が欠け、会の運営に著しく支障を生ずる場合には、その不足数につき、2に準じ選任することができものとする。

（付 則）

この要領は、平成17年4月16日より実施するものとする。

2. 北海道ボランティア・レンジャー協議会20周年記念事業

会の節目にあたり、活動をふりかえり、また将来を展望するための事業を行っていく。

(1) 具体化にむけて

- ・アンケートの結果を尊重していく。
- ・20年間の観察会や活動の集積の整理をしていく。
- ・20周年記念事業積立金を有効に活用していく。

(2) 記念事業

- ・フィールドガイド（仮称）の作成      （50万円）
- ・記念講演会や研修会の実施      （25万円）
- ・エゾマツ特集号の発行      （5万円）

(3) 記念事業組織

- ・フィールドガイド（仮称）の作成は会員から協力スタッフを募り組織する。
- ・記念講演、研修会は研修部と役員会が窓口となる。
- ・エゾマツ特集号の発行は広報部が担当する。
- ・会計一切は総務部（会計）が行う。

地球規模で環境を考える

分布	<p style="text-align: center;"><b>熱帯林</b></p>	<p style="text-align: center;"><b>砂漠</b></p>
広さ	<p style="text-align: center;">赤道を中心に約50° (緯度) の陸地にはえている森林 東南アジア・アフリカ・南米</p> <p>森林面積は43億ヘクタール 熱帯林は20億ヘクタール 熱帯雨林は11億ヘクタール</p>	<p style="text-align: center;"><b>2</b></p> <p>図 1.2 世界の砂漠化地図 (FAO/UNESCO/WHO, 1977 を用断化) 砂漠化の危険度: 1. 現存の砂漠 2. 将来に高い 3. 高い 4. 中程度</p> <p>アフリカ・中東・中央アジア 中国西北部・北米・メキシコ オーストラリア</p>
		<p>17億ヘクタール</p>



<p>気 候</p>	<p>高温 25℃/年 多雨 2000mm/年 以上 (インドネシア)</p>	<p>冷温帯 10~15℃/年 雨量 150mm/年 以下 (中国)</p>
<p>熱帯林の消失と 砂漠化の原因</p>	<p>木材や燃料を得るための伐採 焼畑農業 牧場を広げる</p>	<p>伐採 家畜の放牧 農地開拓</p>
<p>消失・砂漠化の スピード</p>	<p>149万ヘクタール/年</p>	<p>23万ヘクタール/年</p>
<p>環境に及ぼす影響</p>	<p>木材や燃料の不足 水害や土砂崩れ 野生動植物の絶滅 炭酸ガス増加で地球温暖化 (温室効果ガス(補脚の資料))</p>	<p>木材や燃料の不足 農業や畜産ができない 生活環境の悪化 生活・産業用水の不足</p>
<p>熱帯林の再生や 砂漠緑化の方法</p>	<p>過伐採をしない 林地を荒らさない 焼畑農業を減らす 多種類の木を植える</p>	<p>色々な方法で飛砂を止める 砂の地面を草でおおう 乾燥に強い多種類の木を 混植する</p>

## 望 郷

室蘭市 柏木 末則

窓からは、室蘭湾が眺められ夜にはベイブリッジならぬ白鳥大橋が見える環境に居るが、故郷の新潟とは、植物が違ったり、花の開花の時期が異なる。今年の冬は長くようやく桜の時期が聞かざる、山の緑もまだまだ薄くエゾエンゴサク、ハクサンイチゲ、ナニワズ、カタクリ、ミズバショウと初春の装いの尽で有る。

窓からアオジ、ハクセキレイ、クロウミツバメ、少し里から離れるとオオルリが見られた。

ボランティア・レンジャーに入ったのは、これらの自然を故郷の父や友人が来た時に道路脇の花や鳥達の名前が言えれば、北海道旅行がより楽しく、少しでも自然にふれられればと思ったのがキッカケです。ボランティア・レンジャーの講習を受けて早くも5年程たったのにほんの少しか草花や鳥の名前を覚えていただけですが、このほんの少しが回りの人や友人達に受けているのがチョピリじまんです。

新潟とは、気温で10℃も寒かったり、山に行かなければ見られないミズバショウがそれこそ道路脇に見られたり、けっして里に来ないオオルリが裏の山で見られたりする北海道の自然を多くの人に紹介できれば良いなと思っています。

オートバイが好きで野山を走っていますが自然の大切さは痛感しています、この環境を守る事を少しでも教えられれば少しでもボランティア・レンジャーとなれるのかなと、思っています。

# なお、この原稿は初春の5月14日にいただきました。

私が暮らす芦別市は、森と水のまちであります。行政面積は865平方\*<sub>km</sub>位で、北海道内の市では札幌に次いで2番目の広さがあります。200万人にも達しようかという札幌の人口に比べ、芦別は1万9千人と比較にはなりません。ただ、私は仕事柄、札幌はもちろん、東京などに出かける機会が多いのですが、全国でも有数の大都市・札幌にもかかわらず、札幌は自然の豊かさを感じます。街の中心部にいながら、見渡せば手稲山や円山、藻岩山の緑の濃い山が見え、ほっとさせられます。

芦別はどうかといえば、これはもう言うまでもなく、市民は森に囲まれた暮らしです。といっても、市民が山の中で暮らしているわけではなく、芦別市の面積の約9割が森林です。その森林が茂る山からは、いくつもの川が流れ、空知川という大きな川にまとまり、滝川市で石狩川と合流します。山・森林が水をためこんで川の流れをつくり、きれいな空気をつくります。私が朝起きて、一歩家を出ると、この清らかな空気に触れます。見渡せば森林。この森林こそが、きれいな水と空気をつくり出すのだと思うと、自然の力に感謝する気持ちになります。ひと頃は、日本全国が開発一辺倒で、国土がずいぶん荒らされた時代がありました。そんな中でも、芦別の自然はある程度守られてきました。経済的利益の側面から開発の手が届かなかっただけかもしれませんが、結果的にはそれで良かったのだと思います。

きれいな水と空気。これはヒトの健康にとって、何よりも勝る栄養分であります。もちろん、人間が体力を維持するためには、肉や魚、乳製品、野菜、お米など穀物から、さまざまな栄養を摂らなければなりません。水と空気は、心の健康の栄養素であり、脳の活性化のための栄養素だと言えるでしょう。

この理想的な環境を、人の健康、あるいは教育に利用できないものか、と私は考えています。芦別には温泉がありますし、旧産炭地のイメージがありながらも、豊かな農業が営まれています。これらを融合させれば、単なる観光リゾート地としてでなく、例えば、病後のリハビリ療養、青少年の教育の場として、利用の方法はいくらでも出てきます。

私一人がいくら考えたところで限界はあります。どなたか、良い智恵をお貸しくださいれば幸い、というところでしょうか。

いささか、我がまち・芦別のPRじみてしまいましたが、一度お越しくださって、森と水のまちを体験していただきたい、と思うのであります。

## 小学生に自然環境の大切さを

ボラ・レン オホーツク支部の活動状況について

オホーツク支部 佐野 亮二

平成15年にボラ・レン オホーツク支部と網走西部森林管理署との間で環境教育に関するボランティア協定を結び「まちの森林博士」として主に小学生を対象とした、自然環境保全普及活動に協力させて頂くことになりました。

平成15年度3回、平成16年度6回それぞれ森林教室、登山、バードテーブル制作、リース作りなどを管理署の職員と私たち「まちの森林博士」約8名で小学生と一緒に自然環境、特に森林の大切さについて理解を深めてもらえるように私たちも一生懸命に勉強しながら汗をながしてまいりました。

今年度もまた森林教室などの予定が数件あるようです、その中でも人気のイベントは夏のバードテーブル制作と冬のリース作りです。バードテーブルは野鳥の生態や使う木材のことなどについて話しをしながら出来るだけ自然のままの木や枝などでそれぞれオリジナルのものを作るようにしています。また、リース作りは、飾り付けのドライフラワー作りのために草花の苗を育て、10月には子供たちと葛のツルを採取に森林に入る予定です。

森林教室やツル集めなどで野山に出たときの子供たちのあの目の輝き、好奇心いっぱい走り回る姿を見ると事前の準備の苦労も忘れてしまいます。こうした各種の行事を通じて楽しみながら自然環境の大切さを理解してもらえればよいと思っています。多くの人に出来るだけ興味を持ってもらえるように私たち自身のレベルアップを心掛けなければならないと思っています。「まちの森林博士」の仲間達は私たちボラ・レンと釣りの名人、木工の名人ハンター、野遊びの達人と多才な人達で構成されていてそれぞれ情報交換しながら活動しています。

私達にこのような活動の場を提供して下さいました網走森林管理署をはじめ関係機関皆様には心より感謝申し上げているところです。

# 塩谷丸山登山自然観察会参加お礼の手紙

北原 武様

平成17年3月27日

春日 順雄

本日は、大変充実した自然観察会で楽しく過ごしました。有り難うございました。曇り、時として青空が見られる天気でしたが、500メートル台地にさしかかったあたりから急変。これも良い体験になりました。吹雪模様の中で、真っ白な紙に描かれたような水墨画のような世界に、「綺麗！綺麗！」を連発する人がいました。荒天の時でないと思えない美しさを感じ取る心のゆとりで乾杯という気がしました。登りで難渋した急坂の下りは、かなりの人が尻滑りに変身。子どもの時代に戻ったような、華やいだ歓声が森にこだましたのも、この季節ならではの喜びの姿でした。



＜500メートル台地を行く＞

さて、私は、塩谷丸山のフィールドは初めてに等しいのに、いつの間にかガイド役を

ちょっぴり。赤面の至りでした。家に帰ってから、ガイドの反省をしているところです。今日の説明内容をいくつか、私の学習の意味を込めて、项目的に書いてみました。



＜昼食を終えて記念撮影＞

## 1.春の息吹

(1) キタコブシの花芽のふくらみ。随分大きくなっていました。今年の春は

たくさん咲きそうです。花芽と葉芽についても観察して貰いました。花芽の全くないキタコブシもありました。「大人にならないと、成熟しないと花はつかない。」こんな説明をしました。

(2) バッコヤナギの芽のふくらみ

(3) 「根開き」について

## 2.鱗芽のいろいろ

ミズナラとハウノキの鱗芽から種による多様さ、一通りで無いことを見て頂きました。

## 3.鱗芽と裸芽

#### 4.裸芽の植物

オニグルミ・ヤマウルシ・オオカメ  
ノキ・イワガラミがありましたの  
で、鱗芽と裸芽の比較をしました。

#### 5.ツル植物

- (1) 付着根によるもの～ツルアジサイ・イワガラミ（実際に付着根の観察をしました）
- (2) マキヒゲによるもの～ヤマブドウで観察
- (3) 木に巻き付くもの～ツルウメ・ドキ
- (4) コクワとヤマブドウのツルの見分け方



<急坂を下り終えて「みんないるかな」点呼>

- (5) イワガラミとツルアジサイの見分け方

ツルの色・ツルの表皮のはがれやすさ・ツルアジサイの鱗芽とイワガラミの裸芽

- (6) ツルの右巻きと左巻き

右巻きと左巻きについては、何人かの人に質問を受けました。

このことについては、学者によって反対なことを書いています。私どもの会だけでも考えを統一した方が良いかも知れません。

- 6.ドライフラワー～イワガラミ・ツルアジサイ・ノリウツギの両生花と中性花（飾り花）
- 7.出発前に北原さんから説明を受けていました「クロカワゲラの仲間のユキクロカワゲラとオカモトクロカワゲラ」については、上ばかりを見て下を見なかった私の不注意で見る事が出来ませんでした。それにしても、参加者の誰からも発見の声がなかったのは、天候のせいで、この日の出現数が極端に少なかったのかも知れません。

小学一年生の参加が一名あったのが良かったです。子どもは、本来的に大人の心を和ませるものを持っています。今回もそうでした。難渋した坂道では、大人たちの温かい「頑張れ！頑張れ！」の励ましやまなざしがありました。天候が悪化してくる中であっても大人たちの冷静さや穏やかさの根底に子どもありの感触を持ちました。どの観察会も子どもの参加者が欲しいですね。参会者との間に、問いかけがあったり、うなづきがあったり、笑いがあったり、楽しい観察会でした。

それから、エゾリスとエゾユキウサギの足

跡がまったく見られなかったのですが、いつも、

見られないのでしょうか。それと、ヤマモミジ見つけられなかったのですが、これは、少ないのでしょうか。



<根開き>

初めてのフィールド同然の地でしたが楽しかったです。有り難うございました。

## 多くの人たちが参加した 恵庭公園観察会

橋場 俊子

5月22日(日) 観察会には絶好の日和。  
一般の参加者13名、会員4名。

今年は春の到来が遅く、桜とこぶしが満開でした。たちっぼスマイル、えんれい草も美しく、初めてエゾリスまで現れ、そのかわいいうさぎに感動。

鳥に詳しい一般参加の方の脚付双眼鏡のおかげで、エゾリスも鳥もリアルに見られました。

でも大好きな猫目草がまだしっかり猫の目になっていなくて、そのかわいらしさを初めての参加された方々に見せてあげられないのが残念でした。

レンジャーの解説に参加者だけでなく、私も感動でリフレッシュする2時間でした。

秋の恵庭公園はさらに美しいそうですよ。

### <広報部からの一言>

市の広報や地元の新聞などに観察会の開催を掲載してもらい、その成果もあって多くの市民が参加してくれました。今後とも着実な活動をして行きたいものです。



6月観察会 「森の仕組みを観察しよう」

札幌市西区 玉田 紀美子

6月5日、うす曇り、参加者36名、レンジャー9名。私のグループは50代、60代3人の女性と中2のA君、小2のH君です。年齢の違いすぎる組合わせに一瞬どうしようと思いました。

エゾハルゼミの大合唱とそれに負けずと鳴くウグイス、トド松とカラ松の雄花を見ながらふれあいコースに入る。元農地だった一つの場所は一面のクマイササにおおわれ、チシマササもあり、両方を観察、特徴と違いを見る。20センチ前後に伸びたオオアワダチ草とセイダカアワダチ草の草原に出る。アワダチ草の中に一本だけピンクの色のノビネチドリがぴこんと首を出して咲いている。少し左に目をやると白い花をたくさん付けたエゾニワトコが立っている。後方には森林、印象に残る風景でした。道端の足元のロゼット状の葉っぱやヨブスマ草を見ながらどんな色の花が咲くのでしょうか、また身に来て下さいね。フキが穴だらけ、その上にバッタがのっている。グループの年齢差など関係なく全員（私も）が大喜びして見る。

下り坂、オオバボダイジュ、コシアブラ、アオダモ等色々木が身近に見えてくる。特に目をしいたのは倒れかかったイヌエンジュ、葉にそっとさわって葉の感触をみる。風もないのに道にイタヤカエデの葉が沢山落ちています。皆さんに拾ってもらい葉柄の先を見てもらう。「あっ切られてる」「だれがやったのでしょうか」(?) 甘い蜜の好きな虫のしわざでしょう。蜜を吸う為切り落とし、切り口から蜜を吸っているのでしょうか。お話しの最中今切り落とされた葉っぱがひらひらと舞いおりてきました。

道端にはクルマバ草、コンロン草、ニリン草、ヤブ人參、オオタチツボスミレ、ツボスミレその他色々、A君とH君はカメラマン次から次へと花を写す。ちゃんと写ったかなとちょっと気になる。水のたまっている一角がある。おたまじゃくし、あめんぼが泳ぎまわっています。この時も年齢の差がなく全員見ている。



登り階段です、ゆっくり登りましょう。登りきった所から見える大パノラマ、百年記念塔、遠くに森林、広々とした芝生、太陽の光も一段と強く感じる。女性の方々のトイレがあるという言葉にトイレタイムを取る。A君とH君は遊びに行っていていいですかと言ってトイレ近くのコンクリートのオブジェ(?)に走って行き、その上にあがり行ったり来たり遊んでいる。トイレに行った女性の方々が帰って来たので、二人にもどる合図をする。もう少し遊ばせたかったと思いながら森林の中に入る。ああ涼しい。さまざまな樹木がきそい合う姿、その下には小さい木や下草がはえ、又その下にはミミズやダンゴ虫、目に見えない微生物がすみ、どれ一つとしてかけてはならないのです。

後の方からA君とH君のはしゃぐ声が聞こえる。A君がH君をおんぶして背なかごしに会話しながら本当の兄弟のように仲良しになっていました。

今回、花の種類もけっこう多く咲いていたと思います。この時期にせんとう草、カラフトダイコン草が咲いていました。少々、驚きました。

今回、暑いところ一生懸命歩いて下さいまして有難うございました。背の高い夏草がはえる頃もう一度見に来て下さい。同じ場所で見た風景が違ってくるのではないかと思います。今日一日御苦労様でした。

≒ 広報部から

6月の観察会に参加された  
玉田紀美子さんよりすてきな  
レポートをいただきました。  
た。



# セミの合唱のなかに、馥郁とした香りが漂う観察会—北広島のレクの森で

佐藤 清一

- ・参加者 11人 (小学生1人を含め) 会員6人
- ・日時 6月19日 (日) 10時より12時30分
- ・コース レクの森、距離 約3km ・天候 曇り、晴れ
- ・観察された樹木の花 ホウノキ、ミズキ、シウリザクラ、ウツギなど
- ・観察された草花 コケイランなどいくつかのラン、ユキザサ、ズダヤクシなど多数

<観察会の様子> エゾハルセミがこの夏を待っていたかのように鳴くなかに、ホウノキの芳しい香りが伝わってきた観察会であった。ホウノキは白亜紀から今日まで、とても短い受粉の期間にもかかわらず、進化もあまりせずに雄姿をどどめている。この大きな白い花の香りは白亜紀の香りといってもいいのかもしれない。いくつかの貴重なラン科の花々にも出会えた。

・参加者のなかには、ここを活動の場としたりしていて植生などに詳しい人もいた。

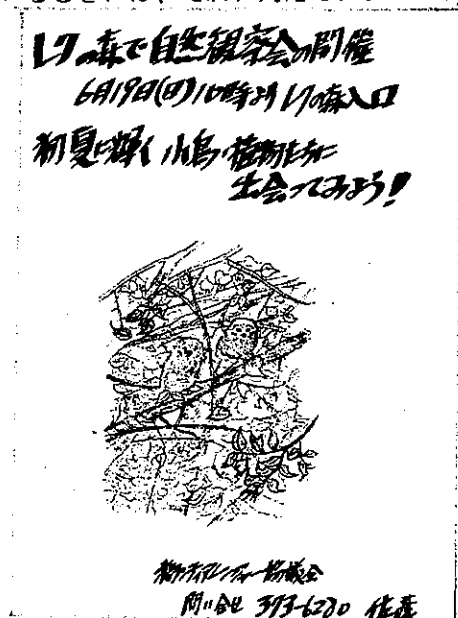
・ボラ・レンの仲間たちがとてもわかりやすく、おもしろくかつ個性的なガイドをしてくれた。

<反省>・当初10時から12時までの予定であったが、距離もかなり長く観察したい植物も多く、30分も時間オーバーになってしまった。今後は終了を12時30分としていきたい。・早く帰らなければならない人がいるときには、それに対応したグループ分けをしていきたい。

<今後について> ・できれば継続したい。

- ・私たちが活動の場としている野幌森林公園とこのレクの森とは道路によって分断されているが原始の姿をわずかに残す連続した姉妹公園である。そのため植生などはとても似ている。だが、自然もたえず変化していくので、共通なもの異なるものを調べて比較するのも面白いと思う。

駅などに掲示したポスター



## 「釧路市身近な指標生物市民調査」から

釧路市 佐々木 文雄

釧路市環境部環境政策課が窓口になって、釧路市域における身近に棲息する生きものを「自然を見るものさし」として、その生きものの分布状況から自然環境の状況を間接的に知る方法（生物指標）を使用した「釧路市身近な指標生物市民調査」を、平成15年度は「プレ野鳥調査」を、平成16年度は「身近な生きもの野鳥調査」を、公募した市民調査員により実施しました。

特に平成16年度の調査は、5月1日より6月30日までの2か月間にわたり、市域を116ブロック（1ブロック：1,0×1,5Km）の調査区に分け、市民調査員の都合の良い日時に割当てられた調査ブロック内を歩き、『野鳥』を見かけたら、種を特定し、野鳥チェックリストに印をつけるという形式で行われました。

市民調査員には、野鳥を特定するための「調査マニュアル」「鳥の鳴き声CD」などが配られました。調査対象とした野鳥は、23種でした。その選定理由は、さえずりなどに特徴があり、鳥の種類が特定しやすい、個体数が多い、釧路では身近に見られる、釧路らしいなどです。

対象になった野鳥と、確認されたブロック数は、次のとおりです。

タンチョウ	16	ハシブトガラ	34	アオジ	96
ウグイス	54	ハクセキレイ	116	カワラヒワ	102
オオジシギ	95	スズメ	116	シジュウガラ	65
ショウドウツバメ	47	アオサギ	44	ヒヨドリ	48
センダイムシクイ	82	エゾセンニュウ	49	ハシボソガラス	103
マガモ	40	カッコウ	82	ハシブトガラス	94
アカゲラ	18	コヨシキリ	93	オオセグロカモメ	67
ゴジュウカラ	35	ヒバリ	79		

今回の調査では、全調査区域116のすべてのブロックで、野鳥が観察されました。このことから『多くの野鳥が訪れる自然豊かな環境』『周りに森や林、湿原などがまだ多く残されている場所』となったブロックが全体の75%を占め、市内の多くの場所にさまざまな野鳥が暮らしていることを、うかがい知ることができました。

市民調査員のひとりとしてこの調査に参加し、広い意味で郷土の自然の良いところを再発見し、より愛着を感じる縁となったことを特記し結びとします。

やっぱり現地で見たい!! (1)

内山恭子

切り花や写真でなく、現地で咲いている本物の花を見たい。今や世界各地から、切り花や園芸用として珍しい花々が四季を通じて輸入されています。例えばチリのアタカマ砂漠産ガラ・デ・レオンと言うアルストロメリアの仲間が花屋さんでレオントキールオバレイの名前で並んでいるのを見た時は絶滅を心配されている花なのにとびっくりしました。栽培技術も向上し、品種改良も盛んですし、ガーデニングブームの昨今不思議ではないのですが、やっぱり現地で咲いているのを見たいと出かけて行った花々について書いてみたい。

ケシ科でメコノプシスという属に入る「青いケシ」という言葉に出会ったのは中学の頃読んだ中尾佐助著“秘境ブータン”です。その時は珍しい花もあるという認識とその花々の発見に至るいわれやロマンスがあるということに胸がときめきました。「青いケシ」は私にとって何十年と高嶺の花でした。2年前旅行会社のパンフレットを見た時無性に行きたくなりました。

この旅は、中国の四川省・成都から北西280kmの日隆（リーロン）という村まで車でいきます。ゴツゴツとした岩肌の山々の間をつづらおりの1本道が続く。その村への途中四朗山峠（4,523m）を超えます。峠の手前の東斜面（約4,000m）の放牧地にそれは咲いていました。霧のかかった中でブルーは鮮明だった。初対面でも“あゝ、ブルーポピーだ”とわかりました。

葉に水滴を残し花は少し露を含み重たげに下を向いていました。丁度ヒナゲシの花のように和紙をもんだような花びらを重ね、ウコン色のオシベはたくさん集まって和菓子みたいでした。茎はガッチリ太く直立しています。トゲのあるコロコロとした蕾が10個ほどあり、想像した以上に立派な立姿です。しかし茎もトゲトゲ、葉もトゲトゲさわるところがないほどの武装姿です。でもやっぱりさわってしまいました。そのトゲは指に刺さるほどかなりしっかりした針でした。美味しくないので、トゲがあるためか“青いケシ”はヤクも食べないという説明でした。これも植物の知恵の一つなのでしょうか。周囲を見渡すとあっちこっちヤクのフンがあり要注意です。花の色も露草色のブルー、コバルトブルー、ロイヤルブルーとブルーも様々でそれぞれ種類が違うのがわかります。また赤や黄色のポピーも咲いていました。だが冷気の中で揺れるブルー

という花色は本当に独特で天空の花にふさわしいものでした。ゴロンゴロンとした石や岩の間のわずかな草地には青いケシと共に種々の高山植物が咲き乱れ、その中に身を置く幸せ。すばらしい花園です。

日隆（リーロン）はチベット系の人々が住んでいる村です。宿泊したホテル（約3,000m）の裏山へ続く斜面には種々の野菜の色がパッチワーク模様を作りだしている段々畑と石造りの家がポツリポツリと建っています。朝餉の煙が煙突から昇る家々は1階は家畜小屋で2,3階が住居でパラボラアンテナもある立派な家です。それは、一見絵になる美しい風景です。対岸には山羊が放牧されているのがみえます。でも私は高山病で頭が割れそうなのにこの高地で人々も動物も生活をしている。こんな高地にいつから人は住みだしたのでしょうか。また“青いケシ”は平地で育てるとどうなるのでしょうか。それなりに姿を変化させて進化するのでしょうか。興味はつきません。

見たことがない花々や日本にもあるアツモリソウ、サクラソウ、シオガマの仲間など沢山みました。山奥にブツレアやシュウメイギクが堂々と咲いているのを見ると、これらは中国が故郷というのも納得です。たった1週間でしたが魅力的な花旅でした。



## おくやみ申し上げます

北見市にお住まいの会員 高橋義治様が、ご逝去されました。高橋様はオホーツク支部設立に努力され会の運営の中心となり活躍されました。顧問を務められ、会の発展に尽くされていました。樹木、野草、自然環境保全について造詣が深く、朝日新聞にオホーツク博物誌をシリーズで掲載もされていました。ここに、生前の本会によせられましたご協力に感謝申し上げますとともに哀悼の意をささげます。

以下は、高橋義治様の、エゾマツ 2003.1.22 No.63 寄稿文です。

## 身近な自然と言うけれど

(オホーツク支部)・北見市 高橋義治

昭和1ケタ生まれの私には、北海道の自然には郷土の開拓当時の人為を受けない「原生自然」と「現在の自然」との二つの考え方に立つのが妥当ではないかと考えられ、次のように扱ってきました。

①「原生自然」については（開拓当時には云々と…自然と開拓先人との生活のかかわり等）を解説に付け加えています。

②「現在の自然」いわゆる人為遷移を含む自然は一般市民の方々には生まれた時から慣れ親しんできた自然で、（本州移入のカラマツや国外から輸入された通称・ポプラ・アカシャ・ドイツトーチなどの動植物が混在する自然）。

これらについては、「開拓後のいろいろな社会の変化から北海道に持ち込まれ、今では新しい北海道の自然となりました。」と説明してきました。

以上は、北海道の特異性とも言うべき、開拓の人為が加わる以前の自然が、開拓の歟がおろされてからほぼ百年、開拓と言う人為の代償としての新しい自然へと、開拓の人々との生活に係わりを持ちながらできあがってきたことを、自然観察に集う一般市民の方々が少しでも理解し、そして市民一人一人が自然保護への判断ができるようになってほしかったのです。近年保護活動としての絶滅種の保存の問題・北海道のブラックバスの放流問題等も、各々の分野で、①②の考え方で整理して説明すれば、理解も得られましょう。

また、北海道でも開拓の人々の生活と自然との係わりなども、道南西部地帯や道北日本海沿い等と、オホーツク地帯とは異なることもあることから、その地域々々の実情を考慮する必要があると思います。観察会の「あれなに・これなに」から抜け出し、参加者が、たのしく、自然の恵みを感じてもらえるように頑張りましょう。

# 鵜川海浜植物宿泊研修及び観察会のお知らせ

昨年 of シギ・チドリ の観察会に引き続き今年もネイチャー研究会 in 鵜川さんの協力を得て会員研修ならびに海浜植物の観察会を開催します。

日時 平成17年7月16日(土曜日)～7月17日(日曜日)  
研修場所 四季の館(鵜川町美幸町3丁目3-1 TEL0145-2-4171)  
受付時間 13:00  
宿泊場所 鵜川町交流館(鵜川町美幸町4丁目)  
会費 2,000円(夕食、朝食、交流会会費等)  
日程

16日	17日
13:00 受付	7:00 起床
13:30 机上学習 (スライドによる勇払の植物)	7:30 朝食
14:30 休憩	9:00 交流館発
14:40 下見	9:30 打合せ及び受付
16:00 自由時間	10:00 観察会
17:00 交流館移動	12:00 観察会終了
17:30 懇親会準備	12:30 解散
18:30 懇親会	

四季の館は入浴施設がありますので、自由時間に入浴してください。宿泊は旧町長公宅ですので、交流館の風呂及びシャワーが使えます。寝具がありませんので寝袋を持参してください。夕食、朝食、懇親会は惣菜などを買ってきて準備しますので、協力お願いします。懇親会はネイチャー研究会 in 鵜川さん、さつぼろ野の花の会さんを交えての懇親会となりますので、多くの方の参加をお願いします。車については相乗りを考えていますので、協力お願いします。

参加希望の方は、7月12日までに研修部長小林英世まで連絡ください。

TEL・FAX 0123-36-3944 メール [hideyof@mint.ocn.ne.jp](mailto:hideyof@mint.ocn.ne.jp)

# 事務局だより

## ◆ボランティア活動保険に加入

今年度も全会員、ボランティア保険に加入しました。本会の会則に沿ったボランティア活動で（ボランティア活動中の事故によるケガ、ボランティア活動中の事故により他人にケガをさせた場合）事故に遭った場合、事務局へご連絡ください。

事務局 田村允郁（TEL・FAX 011-791-0127）

## ◆ボランティア・レンジャー育成研修会、実践セミナーの開催

このことについての要項を掲載しました。ボランティア・レンジャー育成研修会については本会の会員を増やすためにも、知人・友人にPRしてください。実践セミナーについては育成研修を修了した人を対象にしています。会員については、広報誌「エゾマツ」を通して周知することになっています。道の自然保護課ではボランティア・レンジャーとしての知識や技能を高める機会を設定しています。多くの会員の参加をお願いします。

## ◆鶴川海浜植物観察会

年度計画にもありますが、昨年に引き続き、7月16日～17日 鶴川で研修会を行います。鶴川にお住まいの会員 門村徳雄氏のご尽力により、鶴川町交流館を利用します。

研修テーマは海浜植物の観察ですが、海鳥の観察もする予定です。

参加希望者は、研修部長小林英世まで連絡ください。

TEL・FAX 0123-36-3944 メール hideyof@mint.ocn.nr.jp

## ◆自然体験塾

本会の会員 猪師勉氏が主宰する「自然体験塾」の観察会実施予定表を別紙にてお知らせします。自主活動の手本として、そのノウハウを学ぶよい機会です。

## ◆フィールドガイド（仮称）作成委員会

今年度の定期総会で承認された上記の作成スタッフを募ります。冊子の企画や具体的な内容を検討していただきます。会員の皆さんが20周年事業に積極的に参加されるようお願いいたします。7月中にスタッフを決定し、第1回の打ち合わせを行う予定です。

連絡先 事務局 田村允郁（TEL・FAX 011-791-0127）



# ボランティア・レンジャー育成研修会



## 受講者募集!



北海道の自然を楽しんでもらい、大切にしてもらうために人と自然の架け橋となるボランティア・レンジャー（自然解説員）としてボランティア活動をしたいと思っている方は是非受講してみませんか？「大地と生態系の関連」等について学びながらいろいろな自然の楽しみ方を体験できます。いざというときに役立つ救急救命法も学べます。

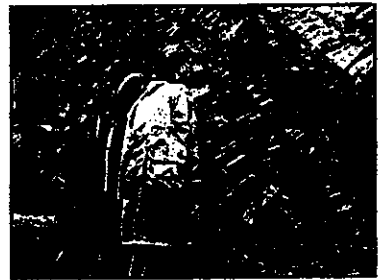
昨年の開催状況は下記関連ホームページからご覧下さい。

日時 平成17年8月12日(金)12:30  
～14日(日)12:30

場所 日高町字富岡  
沙流川温泉 ひだか高原荘

定員 30人(申込多数の場合は先着順)

研修内容 講義「大地と生態系の関連はあるか？」  
講義「野外観察時における救急救命法」  
自然体験プログラムの体験  
自然体験プログラムをつくろう！ 等



参加費 保険料200円、宿泊・食事代は実費負担(ひだか高原荘に宿泊し、食事を取る場合は18,000円程度)

申込方法 ハガキ、FAX、Eメールにて下記の内容を記入しお送り下さい

### 記入事項

氏名(ふりがな)、郵便番号、住所、年齢、性別、電話番号(FAX、Eメール)、宿泊の有無、喫煙の有無、研修場所までの交通手段(自家用車又は公共交通機関)

申込締切 7月20日(水)

\*申し込まれた方には7月下旬に研修内容などの詳しい資料をお送りし改めて参加の意向を確認します。

主催 北海道 後援 日高町

▶関連ホームページ

<http://www.pref.hokkaido.jp/kseikatu/ks-kskky/hureai/borarenn/borarenntop.htm>

### 申込先・問合せ先

〒060-8588 札幌市中央区北3条西6丁目

北海道環境生活部環境室自然環境課自然ふれあいグループ

TEL 011-231-4111 内線24-372 FAX 011-232-6790

Eメール kansei.shizen1@pref.hokkaido.jp

もし一途に行けたらうれしいですけれど。

# ボランティア・レンジャー実践セミナー



## 受講者募集!



現在自然解説を实践している方やこれから活動したいという方は是非受講してみませんか?

「大地と生態系の関連」等について学びながらいろいろな自然の楽しみ方を体験できます。いざというときに役立つ救急救命法も学べます。

同時に育成研修会も開催します。昨年の開催状況は下記関連ホームページからご覧下さい。

日時 平成17年8月12日(金)12:30  
～14日(日)12:30

場所 日高町字富岡  
沙流川温泉 ひだか高原荘

定員 20人(申込多数の場合は先着順)

研修内容 講義「大地と生態系の関連はあるか？」  
講義「野外観察時における救急救命法」  
自然体験プログラムの体験  
自然体験プログラムをつくろう! 等

参加費 18,000円程度(宿泊代、食事代、保険料)

なお、宿泊をされない場合は食事代、保険料のみ

申込方法 ハガキ、FAX、Eメールにて下記の内容を記入しお送り下さい  
記入事項

氏名(ふりがな)、郵便番号、住所、年齢、性別、電話番号(FAX、Eメール)、宿泊の有無、喫煙の有無、研修場所までの交通手段(自家用車又は公共交通機関)

申込締切 7月20日(水)

\* 申し込まれた方には7月下旬に研修内容などの詳しい資料をお送りし改めて参加の意向を確認します。

申込先・問合せ先

〒060-8588 札幌市中央区北3条西6丁目

北海道環境生活部環境室自然環境課自然ふれあいグループ

TEL 011-231-4111 内線24-372 FAX 011-232-6790

Eメール kansei.shizen1@pref.hokkaido.jp

▶ 関連ホームページ

<http://www.pref.hokkaido.jp/kseikatu/ks-kskky/hureai/borarenn/borarenntop.htm>

主催 北海道

後援 日高町

# 自然体験塾

## 自然観察会実施予定表

〒006-0816 札幌市手稲区前田6条9丁目11-8

TEL/FAX:011-682-0874 猪師 勉

携帯:090-7512-5766

E-mail: taiken91@phoenix-c.or.jp

http://www.phoenix-c.or.jp/~taiken91/

月日	観察会の種類	観察会の場所	集合場所	持ち物	備考
平成17年 2/13 (日)	冬山登山と樹木 観察	藻岩山	午前10:00 慈啓会病院前	昼食	防寒用服装・アイゼンが必要
3/20 (日)	冬芽の樹々とつ る性の木観察	西岡水源池	午前9:00 管理事務所前		防寒用服装
4/29 (祝)	植物観察	北大植物園 内	午前9:00 北大植物園前		サンシユユヤトサミズキの花が 見られる
5/1 (日)	カタクリの大群 落観察	花魁湖周辺	午前9:00 真駒内駅待合室	昼食	根の観察をします
5/5 (祝)	神宮の樹々 ウォッチング	北海道神宮 境内	午前9:00 円山公園管理事務所前	双眼鏡 昼食	鳥糞勇判官を訪ねて
5/29 (日)	<b>積丹岬・神威岬散歩と盃海岸の旅</b>			日帰り 2,500円 貸切バス 午前8:00NHK前出発 ◎申し込みが必要	
6/5 (日)	山菜の見分け 方	手稲山ロープ ウェイ周辺	午前10:00 手稲山ロープウェイ前	ナイフ お碗・昼食	山菜料理を試食
6/26 (日)	ダム巡り	豊平峡ダム 定山溪ダム	午前9:00 定山溪ホテル前	昼食	豊平峡ダムまで1km程度歩く ◎申し込みが必要
7/10 (日)	恵庭湖と滝巡り	恵庭湖周辺	午前7:20 大通西11丁 目中央バス停留所横	昼食	恵庭湖周辺の自然 ◎申し込みが必要
7/18 (祝)	夏山登山	大倉山周辺	午前8:00 円山公園管理事務所前	昼食	三角山～大倉山～小別沢トンネ ル手前までを縦走
7/24 (日)	ホテル観察	西岡水源池	午後7:00 管理事務所前	懐中電灯	小学校低学年の方は 保護者同伴
8/7 (日)	<b>襟裳岬と黒松海岸の旅</b>			日帰り 2,500円 貸切バスG 午前7:30NHK前出発 ◎申し込みが必要	
8/28 (日)	樹木観察	野幌森林公 園	午前9:00 大沢口駐車場	昼食	大木を中心に観察します
9/19 (祝)	薬用植物観察	厚真町	午前7:20 大通西11丁 目中央バス停留所横	昼食	植物の素晴らしさを知る ◎申し込みが必要
10/2 (日)	きのこ狩り	手稲山周辺	午前10:00 手稲山ロープウェイ前	ナイフ お碗・昼食	きのこ汁の試食と見分け方相談
10/10 (祝)	<b>オロフレ峠・大滝村三段の滝紅葉の旅</b>			日帰り 2,500円 貸切バスG 午前8:00NHK前出発 ◎申し込みが必要	
10/23 (日)	天然ドライフラワー ウォッチング	西岡水源池	午前9:00 管理事務所前	昼食	サビタ・ツルアジサイ・イワガラミ 汁物あり
11/3 (祝)	つるで花籠作り	荒井山周辺	午前9:00 円山公園管理事務所前	ハサミ 軍手・昼食	◎申し込みが必要 参加費1,000円(会員は除く)
平成18年 1/9 (祝)	<b>自然体験塾新年会</b>			◎申し込みが必要	

※参加費300円(会員は除く)

※すべて雨天決行

## 編集後記

- ・ 表紙は会員の熊野美子さんに、初夏の植物たちの生命の輝きに満ちた絵を描いてもらいました。千歳の青葉公園で出会った“黒百合”だそうです。
- ・ 今回の定期総会で、元森林総研勤務で農学博士の前田満さんに破壊されていく熱帯雨林の現状とその回復作業の困難性や中国の砂漠での植樹などとても貴重な講演をしていただきました。なお、その講演の内容について広報部の内山さんに報告してもらいました。
- ・ 会員のみなさんから、各地での自然との出会い、観察、子どもたちに自然の大切さを伝えていく作業活動、そして郷土の自然の魅力などすばらしいレポートをいただきました。とても元気づけられています。
- ・ 7月1日から2日にかけて、富良野の東大演習林にある「大麓山」登山が行われます。この山は原始の自然を残して研究などをしていくために入山などを禁止してきたそうです。今回は富良野の皆さんの尽力で登山ができ、原始の息吹を感じることができるのはとても嬉しいことです。多くの人たちが参加されて、この山の地形、植物、動物などを共同で調べてきてください。その成果をもとに10月発行の「エゾマツ」に特集号を組みたい。参加者の皆さんの報告を待っています。
- ・ なお、機関誌「エゾマツ」の秋期号の原稿締切りは10月15日としています。(S)

「エゾマツ」

2005年6月23日発行

第73号。夏期号

会長 川端 功治